

「学ぶ力」の育成に向けて
家庭学習の習慣化を図る取組

家庭学習

チャレンジ

ハンドブック

～保存版～



札幌市立月寒小学校

保護者の皆様へ

月寒小学校では、子どもたちの学ぶ力の育成に取り組んでいます。そのためには、ご家庭の協力が必要です。家庭と学校がともに手を携えて子どもの育ちを育んでいくことによって、子どもの力は何倍にも高まります。家庭での学習の習慣化が、子どもの「生きる力」を高めていくと考えています。

もくじ

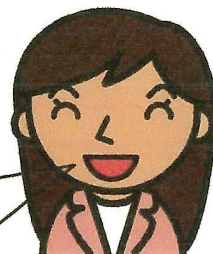
○家庭学習への取り組みせ方は？	1
○1年生の家庭学習のポイント	2
○2年生の家庭学習のポイント	3
○3・4年生の家庭学習のポイント	4
○5・6年生の家庭学習のポイント	5

家庭学習の意義は？

家庭学習には、次の6つの意義があります。

- 学校で学習した内容をより確かに定着させることができる。
- 家庭での学習習慣が身に付く。
- 自ら学ぼうとする態度が身に付き、学習に対する自信が高まる。
- 脳が活性化し、鍛えられる。
- がまん強さ、根気、集中力が身に付く。
- 家族がふれ合う機会となり、心身も頭脳も健やかに育つ。

親子のふれ合いを深めることにもつながります。



発達段階に応じて…

低・中・高学年の発達段階に応じて、「保護者と一緒に」「保護者の励ましとともに」「自分の力で」取り組みせます。



1日10分間
続けると1
年で60時
間です。

規則正しい生活習慣

「早寝・早起き・朝ごはん」が大切です。テレビやゲームの時間を話し合って決めてください。

家庭での学習の習慣化のポイント

短い時間から少しずつ始めることが大切です。あくまでも『学年×10分間』は目安であり、無理して取り組むと長続きしません。

習慣化するためには、次のことが重要です。

- 決まった時刻に学習する。
- 集中して学習に取り組む。(自分で決めた時間をやり続ける。)
- 家庭学習をしている時は、テレビを消す。
- 整理・整頓された場所で、よい姿勢で学習する。

家庭学習への取り組み方は？

家庭学習チャレンジへの取組

自分から進んで家庭学習に取り組む子どもになるように『家庭学習チャレンジ』の取組を展開します。

『家庭学習チャレンジ』とは、大人が「勉強しなさい。」と声をかけなくても、子どもが自分で家庭学習に取り組みたくなる仕組みのことです。

《家庭学習チャレンジ》

家庭学習の時間に「チャレ」（チャレンジの略）という単位を設定します。1チャレ＝10分間です。さまざまな学習に興味をもち、自らチャレンジしてほしいという願いを込めて「チャレ」という単位にしています。



もちろん「6チャレ」以上になってもOK！！

目安は学年×10分間

基本的には、学年×10分間の家庭学習に取り組んでほしいと考えます。しかし、6年生であっても、全く家庭学習しないより「1チャレ」に取り組むことが大切です。

保護者のご協力も必要です!!

子どものモチベーションを持続させるためにも保護者のご協力は必要不可欠です。子どものがんばりを励ますような言葉がけや、可能ならば丸つけなどのご協力もよろしくお願いします。

家庭学習の内容

- 宿題 … 学校が出す、やることが明確な学習
- 自主学習 … 学校が促す、子ども自身がやることを決めて取り組む学習（高学年ほど重視）
- その他 … 学校以外（家庭や塾など）が設定する学習

家庭学習の習慣化を図ることがねらいです。



自分で目標を決める

自分で目標（〇チャレ）を決めて、毎日その目標を達成できるように取り組むことが大切なのです！！

「1チャレ」から始める

子どもたちに対して、「1チャレ（10分間×1）」から始めるように働きかけます。自分で『チャレンジ』のレベルを増やしていくことができるので、個人内でのモチベーションを高めていくことができる仕組みになっています。学年を飛び越えて『〇（上学年の数字）チャレ』に取り組んでもよいのです。

- 1チャレ… 10分間×1＝10分間（1年生）
- 2チャレ… 10分間×2＝20分間（2年生）
- 3チャレ… 10分間×3＝30分間（3年生）
- 4チャレ… 10分間×4＝40分間（4年生）
- 5チャレ… 10分間×5＝50分間（5年生）
- 6チャレ… 10分間×6＝60分間（6年生）

記録カードは担任からプレゼントします。



記録カードに毎日学習時間（〇チャレ）を記録していくようにします。

1年生の家庭学習のポイント

1年生はこんな時

1年生は、次のような発達の特徴があるので、その特徴に合った家庭学習のあり方が大切です。

- いろいろなことに興味をもち、何でも知りたがっている。
- 一人で家庭学習をやり切らせるためには、家族の手助けが必要不可欠である。
- 成長に個人差が見られる。(他の子どもと違って当たり前である。)がんばったことをほめてほしいと思っている。

「大人と一緒に」が低学年の原則です。



1チャレから始める

1チャレ(10分間)の家庭学習を習慣化させます。



45分間の授業が基本なので家でも集中力…。

日記を書くポイント

楽しかったことやうれしかったことを素直に自分の言葉で書かせることが大切です。

学校の主な学習内容は？

学校では、次のような内容を学習します。

- ひらがな、カタカナ、80字の漢字を学習する。
- 生活と結び付いた学習が多く、具体物を使ったり実際に体験したりしながら学ぶ。
- 繰り返し練習することによって、力の付く学習内容がたくさんある。
- 「鉛筆を正しく持つ」「明日の学習準備をする」「整理整頓する(持ち物の管理をする)」は、学習の基本である。

こんな家庭学習を…

次のような内容が望ましいと考えます。

<国語>

- 「あいうえお」の口形に注意し、句読点に気を付けて大きな声ではっきり読む。
- とめ、はね、はらいに気を付けて丁寧にゆっくり書く。
- 本をたくさん読む。(読み聞かせを含む。)
- 勉強した言葉を使い文を書く。(日記をつける。)

<算数>

- 10の合成、10の分解がスムーズにできるようにする。
- 正しくできるようになったら、少しずつスピードを上げて練習する。
- 日常生活の中で、時刻が読めるようにする。

1年生にとって保護者のかわりは必要です。



ほめて励ます言葉がけ

次のような言葉がけが大切です。

- 「よくできたね。」
- 「きれいに書けたね。」
- 「がんばったね。」
- 「もう一度やってみようか。」

2年生の家庭学習のポイント

2年生はこんな時

2年生は、次のような発達の特徴があるので、その特徴に合った家庭学習のあり方が大切です。

- 1年間の学校生活の流れを経験し、見通しがもてるようになっていく。
- できることは自分からしたがる。自分のことは自分でする習慣を付けるのにより時期である。
- 正しい鉛筆の持ち方はこの時期までに身に付けさせることが大切である。

「大人と一緒に」が低学年の原則です。



2チャレにチャレンジ

2チャレ(20分間)の家庭学習にチャレンジさせます。



おうちでの仕事にもチャレンジすることが…。

日記を書くポイント

質問しながら子どもの気づきを広げるようなアドバイスが重要です。

学校の主な学習内容は？

学校では、次のような内容を学習します。

- 160字の漢字、かけ算の九九、長さの単位、三角形・四角形について学習する。
- 質問したり質問に答えたり、グループで話し合ったりまとめたりする学習が増えてくる。
- 繰り返し学習することで、身に付く学習内容がたくさんある。
- 学ぶ力の土台となる「返事やあいさつをする」「はきものを揃える」「時間を守る」ことの定着を図る。

こんな家庭学習を…

次のような内容が望ましいと考えます。

<国語>

- 姿勢や口形、声の大きさや速さに注意して、はっきりした発音で読める。
- 漢字を熟語にして書いたり、送り仮名を付けて書いたりする。
- 親子で本を読んだり本について話をしたりすることで、本への関心が高まる。
- 勉強した言葉を使い文を書く。(日記をつける。)

<算数>

- たし算やひき算の筆算やかけ算の九九を練習する。
- 間違えた問題は、必ずもう一度やり直す習慣を付けるようにする。

2年生にとって保護者のかわりが必要です。



ほめて励ます言葉がけ

次のような言葉がけが大切です。

- 「よくできたね。」
- 「きれいに書けたね。」
- 「がんばったね。」
- 「これもできそうだね。」

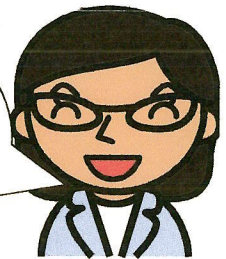
3・4年生の家庭学習のポイント

3・4年生はこんな時

中学年は、次のような発達の特徴があるので、その特徴に合った家庭学習のあり方が大切です。

- 好奇心が旺盛で、行動範囲が広がる。
- 自立心が芽生え、自分でやってみようとする
ことが多くなるが、まだ手助けは必要である。
- みんなと行動することを好むとともに、口答え
や反抗が少しずつ見られるようになる。
- 認めてほめると自信をもつ。

1・2年生での
家庭学習の
習慣化が役に
立ちます。



3～4チャレンジに挑戦

3～4チャレンジの家庭学習にチャレンジさせます。



リコーダーの
練習にも進
んで取り組も
う。

自分なりの家庭学習ノート

言葉の意味調べ、計算練習、社会や理科の復習などをノートにまとめることから始めてみましょう。

学校の主な学習内容は？

学校では、次のような内容を学習します。

- 「社会」「理科」「総合的な学習」「外国語活動」が始まり、学習の内容が大きく広がる。
- 資料集や地図帳、国語辞典や漢字辞典などを使い、自分で調べる学習が多くなる。
- 新出漢字は、3年生200字、4年生202字である。
- 算数では、分数や小数などの少しずつ抽象的な内容を学ぶ。
- 四則計算(＋－×÷)の基礎・基本を学ぶ。

こんな家庭学習を…

次のような内容が望ましいと考えます。

- <国語>
 - 毎日一回は声に出して読む。何日かたつとすらすら読めて会話文にも気持ちがかもってくる。
 - 国語辞典や漢字辞典の使い方に慣れるように常に手元に置いて使う。
- <算数>
 - 筆算では位をそろえて書き、手順を確かめながら正確に、次第に早くできるようにする。
 - 他の単位への換算ができるようにする。
- <社会>
 - 地図帳で都市の位置や県名を確かめたり、地図記号を調べたりする。

興味をもった
事柄・出来事について調べる。



ほめて励ます言葉がけ

- 子どものちょっとしたがんばりをほめることが大切です。
- 他の子と比べるのではなく、昨日の我が子と比べてほめることが大切です。

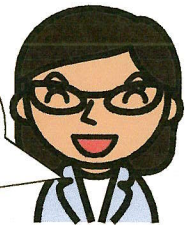
5・6年生の家庭学習のポイント

5・6年生はこんな時

高学年は、次のような発達の特徴があるので、その特徴に合った家庭学習のあり方が大切です。

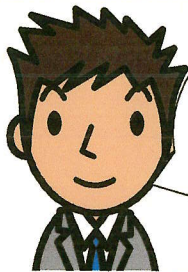
- 一人前に接してもらっているか、大切にされているか等、大人の評価が気になる。
- 自分を客観的に見つめたり、友達と自分を比べたりするようになる。
- 考える力も大人並みになり、時には大人への反抗も見られる。
- 得意な教科と苦手な教科を意識し始める。

あせらず1～2
チャレでもOK
です。



5～6チャレに挑戦

5～6チャレの家庭学習にチャレンジさせます。それ以上でもOK。



その日に学
習したことを
ノートにまと
める。

家庭学習ノートの工夫

好きな学習・得意な学習から始めていきます。授業のまとめや次の学習で役に立つノートづくりもよいですね

学校の主な学習内容は？

学校では、次のような内容を学習します。

- どの教科も学習内容が多くなる。
- 家庭科や外国語の学習が始まる。
- 新出漢字は、5年生で193字、6年生で191字である。
- 筋道を立てて論理的に考えたり、抽象的なものの見方をしたりすることが求められる。
- 自分で課題を見付け、解決していくことのおもしろさを経験させ、「学び方」や「ものの考え方」を育てる。

こんな家庭学習を…

次のような内容が望ましいと考えます。

- <国語>
 - 詩や俳句、短歌などを暗唱したり朗読したりする。
 - 漢字の構成や字形を意識して練習する。
- <算数>
 - 定規やコンパスを使って正しい図形を描けるようにする。
 - 問題の内容を簡単な図に表わしてから、式を立てる習慣をつくる。
- <社会・理科>
 - テーマを決めて、資料集・百科事典・インターネット等で調べてノートにまとめる。

もっと知り
たいことを
調べてまと
めると…。



ほめて励ます言葉がけ

子どもの話をよく聞き、成長を温かく見守ることで、将来の夢や目標をもって努力し続ける子どもになります。